

令和5年 7月11日

報道関係者 各位

大阪府藤井寺市

市役所業務での生成AIの利活用について 実証実験を行います

藤井寺市では、今話題の「ChatGPT」などに代表される「生成AI」の利活用に向けた検討のため、庁内で実証実験を行います。

実証実験期間を通じて、「生成AI」という新たなテクノロジーに触れることで理解を深め、また、職員個々のアイデアで活用法を見出すなど、職員の情報リテラシー向上を推進し、市役所業務の効率化や市民サービス向上に繋がりたいと考えております。

1. 実証実験の概要

下記の2つの自治体向けに開発されたサービスを、一定期間、無償で提供いただき、庁内での利用に関するルールなども作成した上で、全職員を対象に行います。

また、実証実験終了後は、職員アンケートなどを通じて、効果の検証を行い、生成AI導入可否を含めた検討を行ってまいります。

①実証実験A

(企業名50音順で記載)

- ・対象者 : 市役所事務職員など(約470人)
- ・実施期間: 7月13日頃から約1ヵ月
- ・利用サービス名: 「自治体AIzevo」
※宮崎県都城市との共同開発されたプラットフォーム
- ・提供企業名: シフトプラス株式会社(本社: 大阪市西区)

②実証実験B

- ・対象者 : 市職員のうち、LoGoチャット(※)利用者(約350人)
- ・実施期間: 7月中旬から9月末(約2ヵ月半)
- ・利用サービス名: 「LoGoAIアシスタントbot版」
※自治体専用ビジネスチャットツール「LoGoチャット」上で利用できるAIボット
- ・提供企業名: 株式会社トラストバンク(東京都渋谷区)

2. 生成AI利用のルール（概要）

- ①入力情報は、公開を前提とした情報や機密に該当しない情報に限る。（個人情報厳禁）
- ②業務利用の際、各所属長へ利用内容など相談などし、利用承認を得る。
- ③入力して得られた情報は、その根拠や正当性を十分確認してから利用する。
- ④原則、入力して得られた情報は、市内部での検討材料として利用する。

3. 想定される利用シーン（業務）

- ・文書の要約、翻訳作業。
- ・対象者毎に、説明文などを平易に書き改めるなどの作業。
- ・文章の校正やブラッシュアップの作業。
- ・着想を得る又はアイデアを発展させる作業。
- ・ワードやパワーポイント等のオフィスツールの利用やコツの指南。
- ・エクセルマクロなどのプログラム作成や修正・訂正作業。

4. SDGsの目標



藤井寺市

<http://www.city.fujiidera.lg.jp>



藤井寺市は、SDGsの目標達成に向けた取り組みを推進しています。

藤井寺市は大阪府の南東部に位置し、市域面積が8.89km²と大阪府で最も小さい市ながら、鉄道の3駅や西名阪自動車道が通っており、アクセス性の高いコンパクトシティとして形成されています。市域には、世界文化遺産に登録された古市古墳群や日本遺産に登録された西国三十三所第五番札所の葛井寺などを有し、歴史資産が豊富なまちでもあります。



近年は、おしゃれな雑貨屋やカフェが増え、「なかなかのまちなか藤井寺」をキャッチフレーズにまちなか観光を推奨するなど、あらたな魅力をみせています。



<藤井寺市プロモーションサイト「なかなかのまちなか藤井寺」>
<http://fujiidera-city-promotion.osaka.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

大阪府藤井寺市

政策企画部 情報政策課 担当：杉本・水田

TEL：072-939-1032

E-MAIL：jouhou@city.fujiidera.lg.jp